

2017

小さな自然観察クラブ

第1回目 早春の森観察



5月13日(土)に今年の小さな自然観察クラブが始まりました。今年の参加者は昨年を大きく上回る28名となり、うち18名が初めての参加となりました。対面式では1人ずつ自己紹介をしてもらい、魚釣りやバウムクーヘン作りを楽しみにしている人が多かったようです。12月までの全7回楽しく活動しましょう。

今回は、名寄の中でも桜がきれいに咲く場所として知られている弥生公園に行きました。自然観察するには程良い天気のもと班に分かれて散策スタート。散策路には名寄市の花オオバナノエンレイソウやカタクリがきれいに咲いていました。これらの花は咲



くのに長い年数がかかりますので、取

ったり傷つけたりしてはいけないことを学習しました。また水辺を観察するとサンショウウオの卵を見つけて、春になったことを重ねて実感したことでしょう。さらに散策すると誰かの落とし物を発見！何とシカの角が落ちていました。このような驚きがあるのも自然観察ならではの！全員で記念撮影。



落ちていたシカの角

今回は名寄の春を体全体で感じる事ができました。これからもいろいろな植物や生き物に会いに行きましょう。



2017

小さな自然観察クラブ

第2回目 黒曜石探し

6月10日（土）に第2回目の観察クラブ「黒曜石探し」を開催しました。当日はあいにくの雨でしたが、黒曜石を探しに行きました。

現地に向かう前に博物館の常設展示を見学して黒曜石の特徴を見て触って学習しました。黒曜石は火山からふき出たマグマが冷えてできたもので、縄文時代には石器の材料として使われていました。名寄で見つかる黒曜石は約590万年前にできたものと考えられており、丸い形で表面にはくぼみがあります。



つけていました。自分の力で見つけた黒曜石は大切な宝物になることでしょう。

川での活動を始めてから約1時間後、雨が強くなっ

てきたので早めに活動を終え、残りの時間は、風連歴史民俗資料館を見学し今回の活動を終わりました。



2017

小さな自然観察クラブ

第3回目 川遊び 魚釣り と石拾い



釣りの準備をしました。釣り糸を釣ざおにくくりつけ、針にはエサとなるイクラをつけたら準備完了です。班に分かれて釣りを始めると、最初はなかなか釣れませ



を釣った子の中には水槽に入れて持ち帰った子もいました。釣りを楽しんだ後は約 20 分かけて好きな大きさや形の石を拾いました。拾った石はこの後の観察ク



7月8日(土)に第3回観察クラブ「川遊び 魚つりと石拾い」を開催しました。初回の観察クラブで楽しみにしている回を聞きましたが、今回の川遊びが1番人気の行事でした。当日は快晴で、暑すぎる天気の中、元気よくピヤシリ川へ出かけました。

現地に着いたらはじめに

徐々に釣れて

カゴにはヤマベやカジカが泳いでいました。特にヤマベはピヤシリ川の代表的な魚で北海道や東北地方以外の地域ではヤマメと呼ばれているようです。夢

中になって釣

りを楽しみ、魚

クラブで色を塗ったりします。

名寄の川で楽しい時間を過ごしましたが、川は流れがあり、川に入る時はすべりやすく、危ないと感じたこともあったと思います。川へ行く時はケガや事故にあわないように気をつけましょう。



2017

小さな自然観察クラブ

第4回目 たき火でバウムクーヘン作り

9月9日（土）に4回目の観察クラブ「たき火でバウムクーヘン作り」を開催しました。観察クラブ史上初めて行われた行事で、開始前は雨が降っていましたが、始まると雨は上がり天気は良くなりました。

調理を始める前に火をおこします。普段はやること

が少ない火おこしを指導員

に教わりながら行いました。火がおきれば、いよいよバウムクーヘンを作ります。ホットケーキミックスをボウルに入れ卵、牛乳、砂糖と一緒に混ぜて生地を作ります。生地が

できれば次は焼く作業です。棒にアルミホイルを巻いて生地をかけます。棒を回しながら焼いていき、生地がきつね色に変わってきたら、さらに生地をか

けて焼きま

す。この作業を繰り返し、程よい太さになれば焼く作業は終わりです。頑張って作ったバウムクーヘンを切り、中を見てみるとおいしそうに焼けていて、実際に食べてみるとおいしい

としか言えない味でした。

今回は自然の中でおやつを作るとても有意義な機会となりました。野外で料理をすることがあればバウムクーヘンを作ってみてくださいね。



2017

小さな自然観察クラブ

第5回目 親子野外料理

10月14日(土)に5回目の観察クラブ「親子野外料理」を開催しました。気温が低く肌寒いなか、友達、親子と一緒に料理に挑戦しました。今回作る料理は鮭のちゃんちゃん焼きときのこ汁の2点です。



はじめに食材を切ります。一緒に参加したお父さん、お母さんに切り方を教わりながら頑張って切っていきます。班のメンバーと協力しあったことで、食材を切る作業はスムーズに進みました。



食材の準備が終わり、たき火の火がおきれば調理のスタートです。ちゃんちゃん焼きは鮭の半身を鉄板で豪快に焼いていき、鮭に焼き目がついたら、野菜やしめじを入れ、アルミホイルで蓋をし、蒸し焼きにします。きのこ汁は大きな鉄鍋にたくさんのきのこ、豆腐、油あげを加えて煮えるのを待ちます。



蒸し焼きのちゃんちゃん焼き、熱々のきのこ汁は食欲をそそるいいにおいを放っていました。おいしそうにできた料理を器にのせて食べてみると、頑張って作った料理ですから格別の味

でした。寒いなか作った野外料理は皆さんの体を温めてくれました。



2017

小さな自然観察クラブ

第6回目 ペインティング・スノードーム作り



11月11日(土)に6回目の観察クラブ「ペインティング・スノードーム作り」を開催しました。いつものクラブ員だけではなく低学年の弟妹も参加し大変賑やかな回となりました。

はじめにスノードームを作ります。空き

びんのフタに発砲スチロールと主役となるフィギュアをグルーガンでくっつけます。すでに学校で学習していることで皆さんのグルーガンの扱いがとても上手でした。次に空きびんに水とのりを入れます。のりを入



れることで水に粘りが出て一緒に入れるスパンコールがゆっくり落ちてきれいに見えます。のりを入れすぎると透明な液体になりませんので慎重に入れます。最後にフィギュアのついたフタを閉めてテープで固定したら完成です。どのスノードーム



もフィギュアがビンの中で輝いていました。

スノードームができた次はペインティングです。7月の観察クラブで拾った石に絵を書きます。何を書くか決めるのに時間がかかったかもしれませんが、書き出したらあっという間に仕上が

り、石には上手な絵がたくさん描かれていました。

今回はものづくりを楽しむ有意義な機会となりました。次回は今年最後の観察クラブです。このクラブで出会った人たちと楽しい時間を過ごしましょう。



2017

小さな自然観察クラブ

第7回目 キャンドル作り



12月9日（土）に今年最後の観察クラブキャンドル作りを開催しました。当初予定していたもちつきから変更し、前回に続きものづくりで楽しい時間を過ごしました。

はじめにローソクを溶かします。細かくしたローソクをアルミ製のお皿に入れ、湯せんで溶かします。すると透明のロウになりました。次に溶かしたロウに色

をつけます。カッターでクレヨンをけずり、ロウに混ぜると色がつきます。どんな色のキャンドルができたか楽しみです。最後にロウを固めます。プラスチックや紙の容器にロウを入れて雪で冷やします。火を



ともすためのしんも容器に入れ割りばしで固定

します。ロウが固まり容器から取り出せばオリジナルキャンドルのできあがりです。

最初は熱々なロウを扱ったり、クレヨンをけずったりする作業は大変だったかもしれませんが①ローソクを溶かす②色をつける③容器に入れて冷やす、の作業



がスムーズに行えているように感じました。今回作ったキャンドルはぜひ火をともしてみてくださいね。キャンドル作りの後はスライド写真を見て今年の活動を振り返りました。

皆さん今年の観察クラブはどうでしたか。違う学校の子と仲良くなり、いろいろな場所に行って、たくさんの自然を見て学習しました。来年もぜひ参加してください。1年間ありがとうございました。

